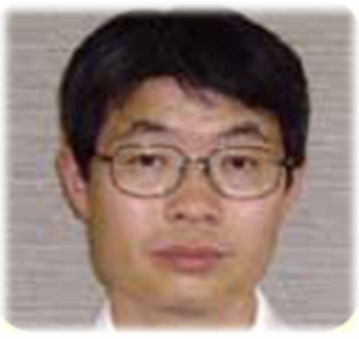
２月２５日（日）１３時３０分より、『広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC）県民公開セミナー その選択は正しいですか？今知っておきたい放射線治療』を開催しました！

皆様、こんにちは。

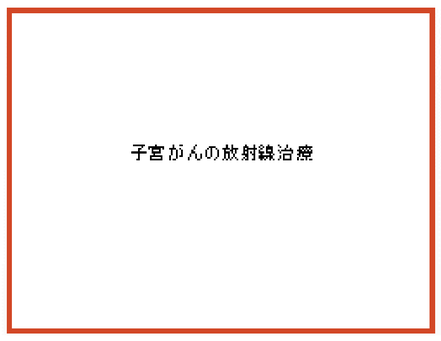
この度、HIPRACと共同事業者である広島県、広島市、広島大学病院、県立広島病院、広島市立広島市民病院、広島赤十字・原爆病院との７者共催により、県民公開セミナーを開催しました。

■第1部《専門医が各分野の最新のがん放射線治療について解説》



【子宮がん・前立腺がん：和田崎晃一先生（県立広島病院）】

・早期子宮頸がんや前立腺がんにおいて手術と放射線治療の治療成績は同等です。



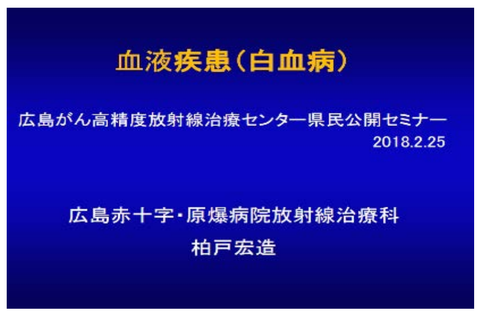
【脳腫瘍：権丈雅浩先生（HIPRAC）】

・がんと言われる「脳腫瘍」は①原発性、②転移性（脳転移）の2種類に分別されます。

・脳腫瘍と疑われる頭痛や嘔吐などの症状があれば、

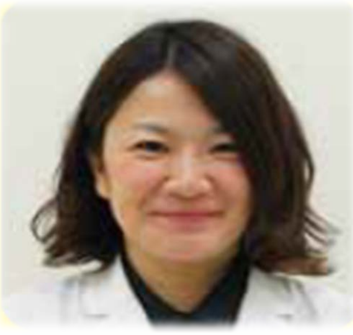
【血液（白血病）：柏戸宏造先生（広島赤十字・原爆病院）】

・白血病における放射線治療は、骨髄移植の前処置として全身照射や、髄外病変の局所治療等があります。



【肺がん・肝臓がん：木村智樹先生（広島大学病院）】

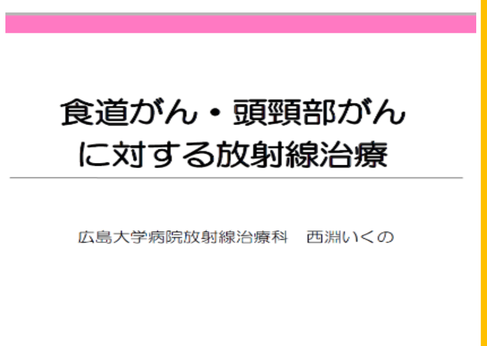
・高精度放射線治療の導入により、安全性と根治性の両方に優れた治療が可能です。



【食道がん・頭頸部がん：西淵いくの先生（広島大学病院）】

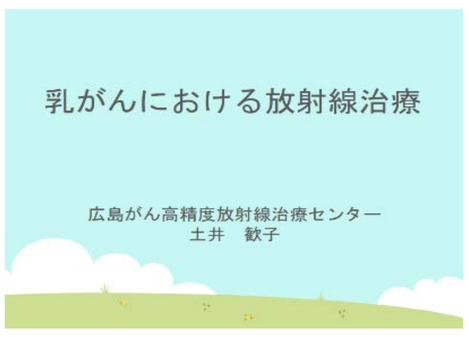
・放射線治療は、食道や頭頸部の機能や形態を温存でき、高齢者や合併症を持つ患者にも有用な治療方法の一つです。

・頸部食道がん、頭頸部がんでは強度変調放射線治療（IMRT）が有用です。



【乳がん：土井歓子先生（HIPRAC）】

・乳がんと診断された多くの患者は、局所再発を減らし生存率を改善させる事を目的として放射線治療を行います。

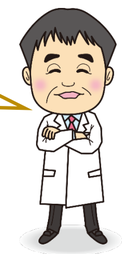


【緩和照射：松浦　寛司（広島市立広島市民病院）】

・「緩和照射」とは、がんが引き起こす身体症状を和らげることを目的とした照射です。

・骨転移による疼痛の軽減や椎体圧迫症状の予防・改善が期待できます。

不安や疑問に思う事があれば、積極的に主治医等に相談しながら、治療方法を選択しください。



■第1部《講演会風景》

司会：広島県医師会　常任理事　座長：広島がん高精度放射線治療センター
　　中西　敏夫　先生　　センター長　永田　靖　先生

↑講演後の質問コーナーに際し、事前に多くの質問が、疾患毎に１問ずつ各演者が回答をしました！

↑参加された277名の皆様は、熱心に講演に耳を傾けられていました。

←HIPRACの土井医師の講演の様子♪

ヘルスケアポイント（広島県）と高齢者いきいき活動ポイント（広島市）のブースも設置しました★

■第2部《HIPRAC施設見学会》

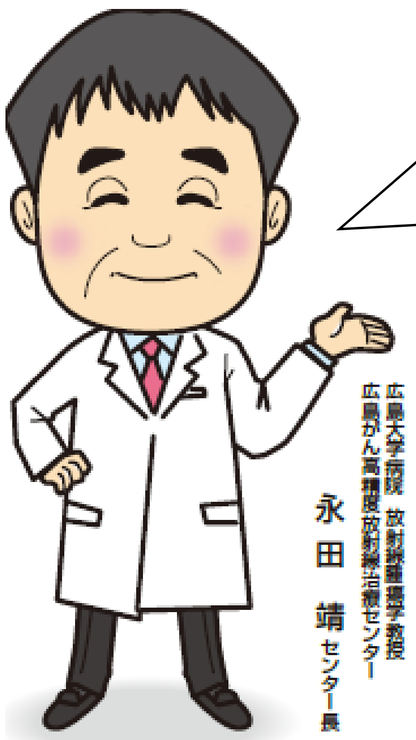
第2部では、事前申込者100名を対象に、職員随行型でHIPRACの施設見学を実施しました。高精度放射線治療装置や、操作室、治療計画室などをご覧頂きました。

↑True Beam STx の見学風景

↑VERO 4DRT の見学風景

↑治療機器や通院方法等に関するご質問も沢山いただきました！

↑実際に治療室の中に入って機器を見ていただきました。



活動内容は下記ホームページに随時アップしてまいりますので、ご確認いただければ幸いです。
（http://www.hiprac.com/）

★HIPRACに関する質問（診療・受診方法など）は、こちらへお問い合わせください。
mail: office@hiprac.jp
Tel：082-263-1330　/ Fax: 082-263-1331

HIPRAC
Hiroshima High-Precision Radiotherapy Cancer Center
広島がん高精度放射線治療センター［ハイプラック］